

平成 25 年 7 月 20 日

根羽村

## 木づかいガイドラインはじめの一步 皆を木の世界に誘うためのブレーストーミング

### 原点 1

- 1 皆さんが森や木を好きになったきっかけや原体験、感動した場面はなんですか
- 2 その体験を他の方に知ってもらったり、プレゼントしたいと思いませんか
- 3 そのプレゼントはどうしたできるでしょうか

### 原点 2

- 1 今皆さんが森や木を前にしてこれではいけないのでは、もっとこうなればなあ、こんなふうになればいいのに、と感じることはありますか
- 2 そんなふうに感じたことを、他の方にも伝えて何か行動を起こしたいとは思いませんか
- 3 どんな行動に取り組んだらよいでしょうか

### 原点 3

今あなたは大好きな森や木について、素敵な本を作ろうとしています。その本を読むと誰でも眠っている心のスイッチが入ってしまいます。すると、心の中が明るく温かくなって、そして歩もうとする道を照らします。皆が森や木のファンになってしまうような、何か森や木に会いに行きたくなってしまおうような、皆で行動を起こしたくなってしまおうような、何か素敵な時間が持てそうな予感がする、あなたがこれから作りたい素敵な本の内容とはどのようなものでしょうか。もし、考えるのが難しかったら、どんなことが書かれている本だったらあなたは購入するでしょうか。

# 課題発進・推進・解決シート

氏名 \_\_\_\_\_

項 目	内 容
1 どのようなことを直感したか 1 どのようなことが不安か どのようなことに危機感を感じるか	
2 課題とは何か	
3 その課題はどのようになると良いか	
4 課題解決のためのアイデア	
5 アイデアを形にする具体的な行動	

<p>6 具体的な行動のスケジュール</p>	
<p>7 結果・反省・直感</p>	
<p>8 課題とは何か（循環する）</p>	

注) ポイントは最初の直感です。何を感じ取れるかは、個人の経験、趣向、センスに左右されます。感じ取れる事が多い人（不安の多い人）は、課題をたくさん想定して、多くのプロジェクトを発進・推進させることができます。

## 木づかいガイドライン作成関連資料

## 1 森林組合関連事項

県名	森林組合名	H23 素材生産量 (m <sup>3</sup> )	出荷先	製材品 換算 50% (m <sup>3</sup> )	関連工務店
愛知県	豊田森林組合	21,075	自社（愛知） 本州市売（愛知） 大口（愛知） ホルツ三河（愛知）	10,538	愛知県
	岡崎森林組合	3,984	本州市売（愛知） ホルツ三河（愛知） 西村木材（三重） ヤマガネ商事（愛知）	1,992	愛知県 三重県
岐阜県	恵南森林組合	4,355	東濃共販所（岐阜） 西垣（岐阜） 東海木材総合市場（愛知）	2,178	愛知県 岐阜県
長野県	根羽村森林組合	6,031	自社（長野） 東濃共販所（岐阜） 東海木材総合市場（愛知）	3,016	長野県 愛知県 岐阜県
		35,445		17,724	

## 各森林組合の共通認識

- ① 矢作川下流域で地域材利用による木づかいが進むことにより、持続的な組合経営が可能となる
- ② 持続的な組合経営が可能となることから、地域の雇用・拡大再生産・地域産業の成立・若者定住に結びつく
- ③ 同時に、上流域の森林整備が継続的に推進される
- ④ 上流域の森林整備が推進されることにより、森林の公益的機能が維持できる
- ⑤ 森林の公益的機能の発揮により、下流域の水資源の安定供給が可能となる

以上の理由から各森林組合は、下流域での木づかいが推進されることを望んでいるため、木づかいが流域で推進されるようなブレークスルー（革新的な取り組み・仕組みづくり・サプライズ）に結びつくような「木づかいガイドライン」を作成したい。このため、素案の内、特に⑤、⑥、⑦、⑩の項目に力を入れたい。

同様に、「木づかいガイドライン」を木づかいの理想的な形を示して導くことに重点を置き、これを手に取った方が新たな木づかい推進のヒントとなるよう当ガイドラインのオリジナル性にも留意したい。

#### 現時点での内容（案）

- ① 私たち矢作川流域住民にとって木づかいの意味とはなんだろうか
  - ② 身近な生活空間の中にある豊かな木のある暮らし・木の魅力
  - ③ 子供から大人まで伝えていきたい木と森とそこに活躍する人たち（事例集等と関連付け）
  - ④ 木づかいを支える事業者のコンセプトと活動
    - ・ 森林組合 ・ 製材所 ・ 工務店 ・ 建築士 ・ 木材市場 ・ クラフトマン
  - ⑤ 流域で使いたい魅力的な木の製品・それを生み出す魅力的な仕組みと活動（提案）
  - ⑥ 今進められている木づかいのための様々な研究テーマ・成果・研究者紹介
  - ⑦ 流域の木づかいのヒントとなる様々な木づかい事例
    - ・ 個人地域材木造住宅 ・ 地域材公共施設 ・ 森林空間利用 ・ 木育アイテム
  - ⑧ 木づかいを進めるための様々な支援策と特典
  - ⑨ こうして楽しむ木と森林空間 流域で取り組む木育プログラム 木のマイスター制度
  - ⑩ 木の利用推進による持続可能な地域づくりに向けての提案
    - ライフラインを支える森づくり→森づくりを進める木づかい→木づかいによる生業の成立→生業の成立による持続可能な地域づくり・地域活性化・地域産業山村消滅の回避
- 2 ブレークスルー（革新的な取り組み・仕組みづくり・サプライズ）のためのブレーンストーミングのテーマ
- 木づかいガイドライン作成にあたって部会メンバー等で話し合いたいこと
- ① 身近な生活空間の中にあると良いと思われる木製品・木造施設とは
  - ② 過去に見て記憶にあるこれと思うような木製品・木造施設とは
  - ③ 新しい革新的な木材利用とは
  - ④ 皆さんが地域材で木造住宅を建てようとした時に何があるとよいでしょうか
  - ⑤ 木使いが進むブレークスルー（革新的な取り組み）とは それはどうしたらできるか
  - ⑥ スギダラ・ヒノダラ・矢作川 流域圏をヒノキだらけ、スギだらけにするには
  - ⑦ 環境に配慮する企業の木材利用指針をつくるには
  - ⑧ 市町村役場・環境教育関連施設の木材使用量を上げるには
  - ⑨ 木による幸せの創造とは

3 現時点で木づかい推進のため既存の概念を打ち破るブレークスルーとしての検討項目（案）  
（豊田森林組合林さん・豊田市森林課原田さんとの打合せより）

- ① 県・市町村の枠を外して木づかい推進を進める姿勢
- ② 流域材活用を最優先とするが県産材概念にとらわれず国産材活用を推進していく姿勢
- ③ 岐阜県の岐阜認証材制度と長野県の信州認証材制度の共有化（JASと同等）
- ④ 愛知県での岐阜認証材制度と信州認証材制度の適用（JASと同等）
- ⑤ 理想的な市町村木材利用指針の提示・年度別施設計画表の追加による木づかい推進
- ⑥ 理想的な企業木材利用指針の提示・年度別施設計画表の追加による木づかい推進
- ⑦ 市町村等における公共施設建築分離発注（材料と施工）方法の提案
- ⑧ 間伐材搬出径級に応じた部材提案または部材提供を意図した森林情報管理
- ⑨ 各森林組合の長所学習会の開催による組合体力・連携強化の取り組み
- ⑩ 流域圏の木づかいを推進する木材コーディネーターの検討
- ⑪ スギダラ・ヒノダラ・矢作川 流域圏をヒノキだらけ、スギだらけにする活動提案
- ⑫ 同活動に伴うデザインコンテストの開催
- ⑬ 木材市場のパイロット価格化に向けたシステム検討

4 現時点での協力者

愛知県

愛知県農林水産部林政課

愛知県木材組合連合会

岐阜県

岐阜県林政部県産材流通課

岐阜県産直住宅協会

（株）鷺見製材

長野県

長野県林務部信州の木振興課

県産材販路開拓協議会

5 国・県・市町村の職員の確保について

区 分	森づくり（悩んでいること）	木づかい（悩んでいること）
国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林経営計画の推進</li> <li>・ 流域林業の推進</li> <li>・ 間伐推進</li> <li>・ 国有林の意義</li> <li>・ 国民にとっての森林の在り方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自給率向上</li> <li>・ 間伐材搬出向上</li> <li>・ 木づかい推進</li> <li>・ 木材利用ポイント事業</li> <li>・ 公共施設への木材利用推進</li> </ul>

県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐推進</li> <li>・森林税の活用</li> <li>・森林経営計画の推進</li> <li>・森林のゾーニング</li> <li>・県民にとっての森林の在り方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村木材利用指針策定</li> <li>・流域林業の推進</li> <li>・自県の木材利用推進</li> <li>・製材工場等の水平連携</li> <li>・木造住宅、公共施設への利用</li> <li>・公共の場での木の快適性PR</li> <li>・工務店の育成</li> <li>・木育推進</li> <li>・新製品開発</li> <li>・木質バイオマス利用推進</li> </ul>
市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営計画の推進</li> <li>・間伐推進</li> <li>・壊れない作業道開設</li> <li>・林業専用道開設の是非</li> <li>・架線集材の有効性</li> <li>・林地災害の未然防止</li> <li>・B、C材の活用</li> <li>・林内の未利用材活用</li> <li>・木の駅プロジェクト</li> <li>・市町村民参加の森づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域材の活用</li> <li>・市町村木材利用指針策定</li> <li>・木材製品の見方、使い方の基本</li> <li>・木材製品使用の是非</li> <li>・分離発注の方法</li> <li>・木質バイオマス利用推進</li> <li>・学校など教育関連分野での木づかいと木育</li> </ul>
研究機関等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代に向けた森づくり</li> <li>・更新の考え方</li> <li>・生態系サービス</li> <li>・里山の総合的なコーディネート</li> <li>・里山資源活用と地域活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重ね梁</li> <li>・積層材</li> <li>・多い樹種、多い径級の製品化</li> <li>・建築部材の共通化</li> <li>・スギダラ、ヒノダラ</li> </ul>

ヒント 森づくり・木づかいに関して、問題点、課題、実績づくり、政策提案等、悩みを抱えている国・県・市町村担当者は多いと考えられる。彼らは、多かれ少なかれ悩んでいるので、どうにかしたいという意志があるはず。

そうした意志のある方を、仲間として確保できれば私達のテーマを逆に実現性の高いものとしてつくり上げる必然性や、テーマそのものを彼らが利用できる可能性も高い。

さらに我々一般市民は、専門でないがゆえに、逆に感度的に感じる望ましい地域の森林の在り方や、身の回りの木づかいの在り方について卒直な意見を述べ、これらの視点をガイドラインに盛り込むことで、庶民も感じ取れる、読んで何かに気が付き、行動を起こせるような、心のスイッチをオンにするようなガイドラインになるのではないかと考える。

6 年間計画について

日 程	区分	内 容
6月29日(土)	全体(根羽)	皆を木の世界に誘うためのブレインストーミング
7月19日(金) 7月20日(土)	森+木	木づかい推進のブレークスルーをするためのブレインストーミング ① ~ ⑨ どうしたらできるか
8月17日(土)	全体(豊田)	木づかい推進のブレークスルーをするためのブレインストーミング ① ~ ⑨ どうしたらできるか
9月13日(金) 9月14日(土)	森+木	木づかい推進のテーマの絞り込み 役割分担決め
10月12日(土)	全体(恵那)	突っ込みゼミ 着地点・決めのポイント出し
11月8日(金) 11月9日(土)	森+木	突っ込みゼミ 着地点・決めのポイント出し
12月14日(土)	全体(岡崎)	ガイドラインイメージ創出 具体的成果を期待する先進的コンセプトターゲットの拾い出し
1月		
2月		